

平成24年第8回東京都北区教育委員会臨時会

会議月日	平成24年9月20日(木)午後6時	
開催場所	北区教育委員会室	
出席委員	委員長 森岡謙二 委員 加藤和宣 委員 齋藤範行	委員 森下淑子 委員 檜垣昌子 教育長 伊与部輝雄
欠席委員	なし	
事務局職員	事務局次長 教育改革担当副参事 学校支援課長 教育指導課長 学校適正配置担当部長	教育政策課長(教育未来館長) 学校改築施設管理課長 学校地域連携担当課長 学校適正配置担当課長

会議に付した議案並びに審査結果

日程	議案番号	提案内容	結果
1	37号	いじめに係るメッセージ等の発信について	承認

平成24年第8回東京都北区教育委員会臨時会会議録

平成24年9月20日(木) 18:00

森岡委員長

皆さん、こんばんは。

それでは、出席委員が定足数に達しておりますので、会議は成立しております。これより、平成24年第8回北区教育委員会臨時会を開会いたします。

日程第1、第37号議案、「いじめに係るメッセージ等の発信について」を議題に供します。

事務局から説明をお願いいたします。

教育政策課長

委員長

森岡委員長

教育政策課長

教育政策課長

9月13日開会の北区教育委員会協議会において、いじめに係る協議を行っていただきました。教育委員会としてメッセージを発信すべきであるとの認識のもとに、メッセージの内容について協議が整ったところでございます。これに基づきまして、事務局において、当日の協議の内容を前提に案を作成いたしました。これから、指導課長よりその案についてご説明申し上げます。

教育指導課長

委員長

森岡委員長

教育指導課長

教育指導課長

それでは、ご協議いただきましたご意見等に基づきまして文案を作成させていただきました。読み上げさせていただきます。

「いじめは絶対許さない！ ―子どもたちの明るい未来のために―」「<子どもたちへ>―助けを求めることは、弱いことではありません―」この部分につきまして、一応ルビを、とりあえず1行目だけこんな感じになるということで入れさせていただきました。

続けます。「いじめは絶対に許さない。」そして、いじめをはやしたてたり、傍観したりしていることも、決して許されないことです。いじめを見つけたら、必ず先生や近くにいる大人に伝えてください。「困ったときは、一人で悩まず、勇気を出して保護者や先生、友人に相談してください。」ここまでが、子どもたちに発信する枠でくくったメッセージということになります。

続きまして、「<保護者の皆さまへ>―いじめからわが子を守ろう― 子どもが発する小さなサインを敏感に受け止め、悩みや不安に真剣に向き合ってください。子どもに、命はかけがえのない大切なものであることを伝え、友だちと互いに個性を認め合い、協力して生活・学習するようお話してください。万一、子どもがいじめられていたら、迷わず学校や教育委員会に相談してください。」

「〈地域の皆さまへ〉—地域の力が子どもを守ります— 心配な子どもを見かけたら、すぐに声をかけてください。子どもたちの未来のために、地域全体で子どもを守り抜いてください。いじめを発見したら、学校や教育委員会へお知らせください。」

北区教育委員会からのメッセージを送るということで、「北区教育委員会では、「いじめは絶対に許さない」という強い覚悟をもち、痛ましい事件が発生しないよう、いじめの根絶を願って、メッセージを送ります。」

下の段は、主な相談先ということで、整理をさせていただきました。第一番目に掲げましたのが、北区教育委員会教育相談所、そして、東京都いじめ相談ホットライン、24時間いじめ相談ダイヤル、全国統一ダイヤルということで、北区、東京都、それから全国統一のダイヤルをお示しをしたものでございます。平成24年9月20日、北区教育委員会ということで、右下に発信者名を記してございます。

子どもたちへのメッセージのところ、最後の行なのですけれども、「必ず誰かが相談に乗ってくれることを忘れないでください。」でございます。

以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

森岡委員長

どうもありがとうございました。

教育政策課長

委員長

森岡委員長

教育政策課長

教育政策課長

本日、メッセージの発信についてご決定をいただいた場合、事務局で準備をいたしまして、来週の27日木曜日には、学校を通じて子どもたちの手に渡るよう準備をいたしたいと存じております。よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

森岡委員長

よろしくお願いいたします。

それでは、本件について、ご質疑またはご意見はございますでしょうか。

森下委員

委員長

森岡委員長

森下委員

森下委員

ちょっと質問ですけれども、「いじめは絶対許さない!」というのは、非常に強い口調のメッセージで、大変効果的だと思います。一番上は、いじめは絶対許さない、そして途中、子どもたちへの2行目は、「いじめは絶対に許さない。」、そして、下のほうの教育委員会から、米印で書かれているところも、「いじめは絶対に許さない」と、「に」が2カ所には入っていて、上は「に」がないのですけれども、これは、いじめは絶対に——例えば、いじめは絶対、ちょっと間あけて許さないというのと、いじめは絶対に許さないというのと、また、この続けて、いじめは絶対許さないというのとでは、ちょっとまたニュアンスが違うかと思うのですね。これ、「に」を

入れるか、外すか、どうですかね。

檜垣委員

委員長

森岡委員長

檜垣委員

檜垣委員

「に」という平仮名が入ったほうが読みやすいように思います。

森岡委員長

上の大きな活字ですね。

齋藤委員

委員長

森岡委員長

齋藤委員

齋藤委員

私も同じ意見です。やはり、「絶対に」でそろえたほうがよろしいかなと思います。

森下委員

続けてよろしいでしょうか。すみません。

もう一つ、子どもたちへのところで、「困ったときは、一人で悩まず、勇気を出して保護者や先生、友人」と、子どもから保護者とは言わないと思いますね。家族とかですね。両親と限りませんのでね、保護者は。ですから、家族や先生、友人にと直していただいたほうがいいかなと思いました。

森岡委員長

もし、皆さん、それ以外で何か今、森下先生の意見というか、それと同じような意見や気がついた点がありましたら、お聞かせください。

齋藤委員

委員長

森岡委員長

齋藤委員

齋藤委員

非常に細かいことで申しわけないのですが、この子どもたちのメッセージの中のこの枠組みの中なのですけれども、「いじめは絶対に許さない。」そして、いじめを
はやしたてたり、傍観したりすること」と、傍観という部分というのはちょっとわかりにくいと思うので、この言葉は、例えば見て見ぬふりなり、もうちょっとわかりやすい言葉にかえてもらったほうがよろしいかなと思います。

森下委員

レイアウトのことで、ちょっとお伝えしたいと思いますが、やはり子どもたちに伝えることや保護者の方々のところを大事にして、この下の電話番号とかはもっと縮小して、下げて行って小さくして、この上の部分は、言葉の部分はある程度ゆったりとした感じでレイアウトができたらいかなと、電話もしょっちゅうするわけではあり

ませんので、小さく枠組みをしていただいて、文字を少し下げてレイアウトされたらいいなというふうに感じます。

それと、保護者と地域のところで、また文字が出ていっている長いのか短いのかがあるのですけれど、読みやすい文体にしたほうが、こう出たり入ったりで、非常にランダムなのがちょっと気にかかります。

森岡委員長

レイアウトとかは、そういうのは直してもらったほうがいいですね。
そういうことで、大体、修正点は出たと思います。各委員、発信に関してご意見等がありましたら。

檜垣委員

委員長

森岡委員長

檜垣委員

檜垣委員

いじめにかかわるメッセージをご準備いただきまして、ありがとうございました。
このメッセージを最初に拝見させていただいて、A4サイズ1枚で、子どもたちに対する強いメッセージと、それから主な相談先、こういったものがA4、1枚にぱつと見られるということは、忙しい保護者や何かにとっても大変ありがたい文章になっていると思います。
それから、大きくいじめは絶対に許さないというメッセージと、まず子どもたちへのメッセージに倣って、そして地域と、それから保護者の皆様ということで、大変わかりやすい文章であるというふうに全体的には思います。

齋藤委員

委員長

森岡委員長

齋藤委員

齋藤委員

最近、大津の事件以来、非常にマスコミ等々でいじめというものを取り上げられていまして、後になっていろいろと隠蔽されたようなことが出てきたりとか、対応が悪かったりというようなことがあって、非常に私個人もいろいろ心を痛めたところでございます。
北区においてはそのようなことがないようにと、もちろん当たり前のことでありますけれども、やはり緊急性を持って、絶対にいじめは許さないというアピールを今回、発信できるということはいいことだと思っています。
相談するところというのは難しく、学校の先生であればいいか、その学校であればいいかというだけではないと思うのですね。そういう中で、今回のすぐに対応してもらえる相談先を、電話番号や対応時間まできちんと書いて、子どもたちの相談なり、保護者の相談なりということで、対応できるものをアピールできるというのはとてもいいと思っています。
必ずその地域・学校・保護者というのは三位一体の部分であるのですけれども、地

域の皆様にといいくことでもアピールをしているといいいこと、やはり子どもたちは地域の宝だといいい部分も踏まえて、やはり全体で見守って、明るい未来のためにといいいこと、進めていくといいい中身も非常にいいと思いいいます。

今回の緊急性をもったの発信の部分とは違って、やはりいじめ等々といいいのは、必ずゼロになるといいいことは正直いってないことだと思いいておいいいますし、その中で、継続的にこいいアピールをしていくべきだと思いいていますので、今後またその状況にに応じて、また進めていけばいいのかなと思いいています。

以上です。

森岡委員長

ありがとうございます。

加藤委員

委員長

森岡委員長

加藤委員

加藤委員

こいいやって緊急的に、いじめは絶対に許さないといいいこいい形でメッセージが送れることは非常にいいことだといいいふうにおいいいますし、必要だと思いいています。私は、地域から出ている人間として、地域としても子どもたちの命の大切さを含めて、ぜひ何らかの形でいいいろいろなこいい情報を発信して、地域としてもこれからいいいろいろなこいいを心がけていきたいといいいふうにおいいいます。

こいいが出て、そしていじめが少しでも少なくなることを願いたいといいいふうにおいいいますし、また、地域で、あるいは家庭でいいいろいろな部分で、いじめを見つけたら、だめなんだ、許さないぞといいいようになる、そんな発信ができてよかったなといいいふうにおいいいます。

森岡委員長

ありがとうございます。

檜垣委員

委員長

森岡委員長

森下委員

森下委員

私も、今お話しされた委員のよう、こいいいじめについての緊急アピールが出せるといいいことは大変タイムリーなといいいか、大切なこいいでよかったなといいいふうにおいいいます。

学校のほうでも日々努力はされていると思いいのですけれども、毎日の報道を見ますと、北区ではどうなんだろうと、恐らく区民の皆さんも、子どもさんを持たない、もう成人した親の方々も、それは案じているところだと思いいいますので、こいいものが出され、また、北区の教育委員会のホームページなどに、もしこいいものを出しましたといいいことが載せられるようでしたら、区民の皆さんも北区の取り組みに対して、やはり道を歩いていて、それを読んで子どもの様子に目を配ってくださる方も

ふえるのではないかということで、大変いいものができたなというふうに思います。

それともう一点は、学校側にこれを配られたとき、学校のほうではただ渡すだけではなくて、恐らく子どもたちへのところと一緒に読んで、ご指導があると思いますけれども、校長先生のほうからも学校のほうからも、また、いじめに対する、あるいは明るい学校づくりというようなメッセージのようなものを学校だよりかどこかでも、添えていただければ、よりイメージが進むのではないかなという感想をもっています。

以上です。

森岡委員長

どうもありがとうございます。

最後に、私のほうからお話ししますが、各委員の意見のとおりでございまして、いじめは絶対に許さないという、この強いメッセージを教育委員会として出せるということとはとてもよいことだと思います。いじめということで、特に子どもの命を絶つ、絶ってしまうと、そういう事件が続いておりますので、子どもの命を助ける、そういうメッセージをこういうふうに送れるというのは大変うれしいと思います。

本当に、このメッセージが有効に活用されて、北区から少しでもいじめがなくなる、そういう社会をとっているのですか、学校が安心できればと思います。

伊与部教育長

教育委員会ではこれまで、いじめ問題対策本部を恒常的に設置して、取り組みをしてまいりました。今回の大津市の事件などを契機として、教育委員の皆さんから、大変厳しいご意見をいただいた、また決意を表明していただいたことを大変厳粛に受けとめております。

今後、この対策本部の中で、学校教職員の体制づくりを改めて点検・見直しをしながら、北区の子どもたちがいじめに苦しむことがないように、改めて取り組みを充実させてまいりたいと思っておりますので、よろしく願いをいたします。

森岡委員長

ありがとうございます。

それでは、ほかにご質疑、またはご意見はございますでしょうか。

(質疑・意見なし)

森岡委員長

それでは、ただいまの各委員のご意見を伺いますと、本件に対し特に反対意見はないようですので、本件については承認することにご異議ございませんでしょうか。

(異議なし)

森岡委員長

ご異議がないと認め、本件は承認することに決定いたします。

それでは、以上で本日の日程全てを終了いたしました。

これをもちまして、平成24年第8回教育委員会臨時会を閉会いたします。